

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	supportroomばある			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 27日 ~ 2025年 11月 17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	15 (回答期間後に受け取った分も含む)
○従業者評価実施期間	2025年 10月 27日 ~ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々変化するお子さんの様子に合わせた支援が出来ている。	職員同士の連携を密にとることでお子さんの変化に気付くことができ、その日のお子さんに合わせた支援ができるようにしている。	継続して職員同士の連携を図る。また、ICT化等より効率のよい共有方法を模索し、日々の支援につなげる取り組みを行っていく。
2	2棟の建物を使用しそれぞれの子の特性や相性について配慮した環境を整えている。	ご利用児さんのその日その日の様子に合わせた環境調整を職員が行う。その中で、ご利用児さんがその日の過ごしを選べるよう過ごしを整えている。	外部の勉強会や研修への参加、社内独自の研修会の開催等で支援する力やご利用児さんへの理解を高めていく。
3	学校やご家庭での困りごと、過ごしの課題に対して、作業療法士の資格を有した職員の助言を活用し、働きかけが出来る。	身体面だけでなく、精神面へのアプローチについても専門的視点を取り入れながら支援を行っている。	職員ひとりひとりが専門的な視点を有して支援を行っていくように、研修や職員の研鑽を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用児さんのご自宅や学校が広範囲にわたる。そのため、送迎時間が長くなったり事業所内の職員が手薄になる時がある。	ご利用児さんのご自宅が学校が広範囲にわたるため。	ご自宅や学校は変更できないので、送迎中の時間もご利用児さんが安全に楽しく過ごせるよう工夫する。状況に応じた保護者への報告を行い、安心して過ごせるように心がけていく。
2	情報発信が十分ではない。	ホームページを活用できていない。 おたよりなどの情報発信がない。	情報発信のツールとしてホームページを整備していく。 継続できる範囲内での情報発信方法を検討していく。
3	児童発達支援も行っているため、全体での勉強会や研修の時間の確保が課題。	児童発達支援も行う多機能型のため。	前もって分かっているご利用児さんのお休みでの空き時間や、研修のために13時までの営業としている日を充てる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026年 2月 13日 利用世帯数 19 回収数 15						
※無回答は「わからない」として集計								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	86%	7%		7%	・何人がどれくらいのスペースで過ごしているのかわからぬ。	・ご意見ありがとうございます。いつでも見学可能ですのでお問い合わせください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	86%			14%		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	86%	7%		7%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93%			7%		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	79%	14%		7%	・排泄時の対応など本人が自立できるように工夫していただいている。	・ご意見ありがとうございます。今後もご利用児さんに合わせた支援をおこなえるよう工夫してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	65%	21%		14%		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	72%	21%		7%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	72%	14%		14%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	65%	28%		7%	・長期休み中はお楽しみ企画などを用意して下さり子どもが楽しみにしています。 ・平日はほぼ変わらない（それでよいと思っています）ですが、長期休み等は工夫してもらっていると思います。	・ご意見ありがとうございます。今後もご利用児さんの最善の利益を考えながら、プログラムの内容を度々検討してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	21%	14%	44%	21%	・学校で地域交流をする機会があるのでなくともよいと思っています。	・ご意見ありがとうございます。現状、他の施設との交流などの予定はございません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	79%	7%	7%	7%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	58%	7%	14%	21%	・研修会の情報をお知らせ頂きました。今後も教えて頂ければありがたい。	・ご意見ありがとうございます。今後もご家族に参加頂ける研修会の情報があればお伝えしてまいります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	93%	7%			・送迎時や連絡帳でその日の子どもの様子を詳しく伝えています。	・ご意見ありがとうございます。今後もご家族と密にコミュニケーションをとつてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	86%	7%	7%		・心配事などがあったときはいつでも丁寧に対応していただいている。	・ご意見ありがとうございます。今後も保護者様にも安心してご利用頂けるよう努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	86%	7%		7%	・非常に共感的に支援していただいている。	・ご意見ありがとうございます。今後も保護者様のお気持ちに寄り添えるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33%	33%	20%	14%	・昨年度は親子での交流会があった。（出れなかったが）今年度も開催するのであれば参加してみたいと思っています。	・ご意見ありがとうございます。次回の交流会も計画中です。公表できる段階になりましたらご案内いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	72%	21%		7%	・臨機応変に対応して下さっています。	・ご意見ありがとうございます。今後も臨機応変に対応できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93%	7%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	42%	23%	21%	14%	・半年に1回でもいいので写真つきの通信を発行して頂ければうれしいです。	・ご意見ありがとうございます。定期的なお便りの発行について現実的に可能かどうか検討いたします。
非...	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	86%	7%		7%		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	51%	7%	14%	28%		

常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	93%		7%			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	65%	14%	7%	14%	・確保する為の計画はわからないですが、支援については安全が確保されていると思います。	・ご意見ありがとうございます。今後も安全にご支援できるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86%	7%		7%		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				・親子共々、安心感を持って通わせてもらっています。	・ご意見ありがとうございます。今後もご安心頂けるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%				・大変楽しみにしています。	・ご意見ありがとうございます。お子さんの力を楽しみのなかでばしていけるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。					・親子共大変満足しています。 ・学校で頑張っている分、息抜きや自分のペースで過ごさせてもらっているので大変満足です。 ・もう少し子どもたちの日々の様子が知りたい。（おたよりなど）	・ご意見ありがとうございます。今後もご利用児さん、ご家族の希望に応えられるよう努力していきます。 ・実現可能で継続できる手段でお子さんの様子を伝えられるよう工夫してまいります。
			86%	14%				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		supportroomはある				公表日	2026年 2月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・子供たちの過ごしに応じて環境設定している。 ・利用児さんが自分が選択して動きある遊びと静かな場所を使い分け出来るようにしている。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・子供の状態に応じて職員数を変えている。	・制度で規定されている以上の人員配置をしている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	87%	13%	・職員同士で検討し、生活空間を整えている。	・新建物がバリアフリーなので必要なご利用児さんがいれば新建物での支援を検討する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	87%	13%	・必要な際は職員で検討し環境を変化させている。	・基本的な毎日の掃除は行っているが細かい点も見直し、今後も玩具、ドアノブ等出来るところをしていく。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・ご利用児さん自身でも選択できる環境にしている。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	87%	13%	・回覧やミーティングで行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87%	13%	・回覧やミーティングで行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	87%	13%	・ミーティングで行っている。 ・代表、職員間で考え方や意見等をオープンに話が出来る環境になっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	・評価結果の振り返りを行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・社内・社外研修ともに、情報提供を行い希望者は参加している。		
適切 な ま ま	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	87%	13%			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		・計画の作成から職員への周知までガイドラインに則った手順で行っている。共通理解の下支援を行えるよう工夫していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・ミーティング等で共有、検討されている。	・計画に沿った支援が行われているか振り返る機会を持つよう工夫する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行えるよう努力している。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87%	13%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87%	13%	・ミーティング等で話し合い、状況に応じた活動の検討を行っている。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	・過ごしの安定維持を考えると、固定した方がよいご利用児さんもいらっしゃる。 ・ご利用児さんよっては部分的に固定することで心身の安定をはかっている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・子供たちの状況に合わせて環境を変えている。 ・長期休みではイベント等普段できない支援企画し経験の幅が広がるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	87%	13%		・さらに連携した支援ができるよう、職員同士のコミュニケーションに力を入れていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	87%	13%	・当日終了時点では難しい為、次の日に振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%		・ご本人の様子やニーズに合わせて支援しているため、4つの基本活動の中で偏りが出る場合がある。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	87%	13%		・ご利用児さんを守ったり成長を促すためのルールがあるが、それ以外の過ごしはご本人が選択できるようになっている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	87%	13%		・情報共有などは必要に応じて行っているが、今後も密にしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		・必要に応じて適宜先方へ情報共有している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	25%	62%	・長期休みに地域にある遊戯施設に出掛けた際に一緒に活動する機会があった。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	13%	・児発管が参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	87%	13%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	87%	13%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	87%	13%		・ご家族の悩みに対して適切な支援を行えているかの確認も含め、社内、社外問わず研修に参加するなど資質向上に努める。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	25%	62%	・昨年は行った。次回も計画している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	87%	13%	・対応の体制をよりよいものにする為に現在社内委員会にて動いている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	37%	63%	・お出かけ等の活動予定は隨時保護者と連絡を取っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		・訓練、周知はしている。新しい職員が入ったタイミングや年度初めなどにマニュアルの確認をすることも検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		・今年は地震発生後のBCP発動を想定して訓練を行った。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		・隨時各職員が気になるところを確認していく。足りない場合はチェックリストの導入も検討する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	62%	38%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		